

進路だより～Aspiration 2018.10.23

朝夕少し肌寒くなり、秋の深まりが感じられる時節となりました。平成30年度も折り返し地点を過ぎ、各学年とも後半のスパートに向けて気持ちを新たに、日々充実した高校生活を送っていることと思います。特に3年生は公募推薦入試の出願が始まり、いよいよ入試本番の季節がスタートします。最後までベストを尽くし頑張りましょう。

今月は、センター試験の出願状況についての報告と現在の受験環境や英語資格試験についてお伝えします。

センター試験出願

10月1日、センター試験を受験する生徒148名の願書の出願を完了しました。大学入試センター試験は、大学入学志願者の高等学校段階における基礎的な学習の達成度を判定することを主目的としており、国・公立大学を受験する際、必ず受けなければならない（先月号で紹介したセンター試験を課さない推薦入試を除く）試験です。最近では、センター試験の成績で入学できる「センター試験利用入試制度」を導入している私立大学が多くなってきたことや、学費等の面から国公立大学を希望する生徒が増えていることもあって、センター試験を受験する生徒の割合が増えています。

【過去4年間の「本校のセンター試験出願状況」】

試験年度	3年生総数	出願者数 ()内は総数に対する%
28	233	124 (53.2) [普通科122/デザイン科3]
29	233	155 (66.5) [普通科150/デザイン科5]

30	228	150 (65.8) [普通科146/デザイン科4]
31	224	148 (66.1) [普通科145/デザイン科3]

【過去4年間の「センター試験利用大学・短大数」】

試験年度	国立	公立	私立	短大
28	82	84	525	157
29	82	86	526	154
30	82	87	525	154
31	82	90	531	152

センター試験における理科の出題科目は8科目で「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」（以上グループ①）と「物理」「化学」「生物」「地学」（以上グループ②）です。受験生は次の4つの選択方法（A～D）から1方法を選んで受験します。

- A：グループ①から2科目選択（60分100点）
 B：グループ②から1科目選択（60分100点）
 C：グループ①から2科目選択（60分100点）かつグループ②から1科目選択（60分100点）
 D：グループ②から2科目選択（130分200点ただし答案回収の10分を含む）

大学によってどの選択科目を要求しているかは様々ですので、自分が志望している大学の受験科目についてはホームページなどでしっかりと調べるとともに、今後の動向にも注目しましょう。また、選択教科や科目ごとで、受験会場が異なる可能性も出てきます。特別措置に関連する生徒は特に受験会場をしっかりと確認しておきましょう。また、私立大学ではネット出願が大半を占めています。大学案内やホームページで手順をしっかりと確認しておきましょう。

31年度センター入試の出願状況（10月6日締切）

()内は昨年度のもの

出願総数	537,008人	(528,323人)
卒業見込み	444,953人	(438,250人)
既卒者	92,055人	(90,073人)
10月12日現在 12月上旬に志願者数確定		

センター試験出願者は前年同時点と比較する8,685人増加した。内訳をみると高校卒業見込者が6,703人増、既卒生が1,982人増となり、現役生、既卒生ともに増加している。センター試験の確定志願者数は12月上旬に発表される予定です。

2019年度の入試受験環境

2018年度入試の大学志願者数は前年度並みの67万9千人でした。2019年度については、来春の18歳人口は今春から約5千人と減少幅は僅かです。一方で、現役生の大学志願率は年々上昇しています。また、2018年度入試が私立大学を中心に厳しかったことから、既卒生の増加が見込まれています。

英語資格・検定試験活用の拡大

英検やTOEICなどの民間の英語資格・検定試験を大学入試に利用する動きが広がりをを見せています。2021年1月から実施される「大学入試共通テスト」でも民間の資格試験が利用されるため、各大学の個別入試では先行して利用が広がっています。

	2017	2018	2019
国公立大学	14大学	17大学	19大学
私立大学	98大学	137大学	168大学

国公立大・私立大ともに、スコア・級に応じて個別試験やセンター試験の英語の得点に置き換えて利用（満点を含む）する「換算」が多く利用されています。1・2年生は時間を見つけては資格・検定試験に早い時期から挑戦しましょう。

善通寺第一高等学校 進路指導部